

目 次

第1部/座談会

| | |
|--------|---|
| くらしの迷惑 | 1 |
|--------|---|

出席者 青井 和夫 日笠 端
白石 清 前田 和甫
森村 道美 湯沢 雍彦
宮坂 忠夫 (誌上参加)
司 会 並木 正吉

| | |
|-----------------------------|----|
| 暴走族と子供のチャンネル独占 | 2 |
| 管理のわるい空地 | 3 |
| 生活ゴミの出し方 | 5 |
| 代々木駅の予備校とレストランのカラオケ | 8 |
| 駅でのアナウンス | 10 |
| 迷惑の感じ方の個人差も大きい | 11 |
| エチケットとルール | 12 |
| 騒音をめぐって | 15 |
| 風鈴の音も時には騒音となる・騒音は顔と名前をもっている | 24 |
| 水洗便所と風呂の音 | 25 |
| ゴミの問題 | 28 |
| 車を洗ったあとタバコの吸いがらを道路にする | 33 |
| 地域の掃除を中・高校生にやらせたらどうか | 34 |
| 交通法規違反 | 37 |
| 自転車の駅前放置 | 38 |

六 目

| | |
|------------------------|----------|
| ペットの迷惑 | 41 |
| 「うちのママはほんとに降ろしちゃうんだから」 | 42 |
| のぞく・のぞかれる住い | 44 |
| 弱いものいじめ | 49 |
| 義理と甘え | 51 |
| しつけは貧しさなしには成立しない | 52 |
| エチケットの基本は他人に親切にすること | 53 |
| 豊かな社会はむずかしい | 57 |
| 第2部／付論 | |
| 他人のことを考える習慣を | 矢野 一郎 61 |
| 社会教育におくれている日本人 | 61 |
| 明るい村づくりをみるために | 63 |
| 自分だけのことしか考えぬ日本人 | 64 |
| 子供のときから社会的訓練 | 65 |
| 社会は木の年輪のようなもの | 67 |
| ノイローゼは自分本位から | 68 |
| 社会はもちつもたれつ | 70 |
| 困った酋長根性 | 72 |
| 競争は争闘ではない | 72 |
| 違う意見をよくきこう | 74 |
| 公共・他人を考える習慣を | 76 |
| 後記 ペットの飼い方の一例 | 78 |